



南郷の風

平成27年度
第14号

個別懇談 11/10~11/13 へのご協力、ありがとうございました

4日間の日程で個別懇談を計画しましたところ、ご多用の中ご来校いただきありがとうございました。

こんな風に育ってほしい、こんな点が心配などなど、たくさんのお話をうかがうことができました。お子さんのより良い成長を願う思いを共有できたと感じていま

す。今後も、ご家庭と連携して、より良い学びの環境を提供して参ります。

定期的な実施は、年に1回のこの機会になりますが、気になることがありましたら、遠慮無く学校へご連絡いただきたいと思います。

食育の学習 11/16



給食センターの栄養士 飯塚先生においていただき、4～6年生で食育の授業を行いました。5年生の授業では、食材がどんな栄養素になるのか、子ども達が参加しながら分類するひとコマがありました。

飯塚先生：「これは原料が牛乳だから？」

5年生：「あっそうか、赤のグループだ」

楽しく対話しながら、どの栄養素も必要で、どれかだけでは足りないことを学んでいきました。

食育基本法の制定から10年になります。その中に、「～自然の恩恵の上に成り立って～食に関わる人々の様々な活動に支えられ～感謝の念や理解が深まるよう～」という一文があります。世界に、神や人に感謝する文化は多いですが、食材や自然そのものに感謝する文化はとても少ないと聞きます。

「いただきます」を欧米の方に説明するのはなかなか苦労します。

命をいただくのだから無駄にしないという心も、健康な体作りのための栄養の知識も、ともに身につけたい食育の要と考えます。年末年始、お子さんと食の話をしてみるのはいかがでしょうか？

12/10(木)は『授業参観日』『PTA教育講演会』

今回は、なわとび大会を参観いただきます。今、子ども達は朝の運動タイムに、なわとびを練習しています。1・2年生は1分間、3・4年生は2分間、5・6年生は3分間、跳び続けることを通して、持久力とリズム感覚を高めます。参観日には、個人の挑戦と、学年毎の大なわとびの挑戦があります。記録更新なるか、ぜひ、ご覧下さい。



自然とひびき合う

南郷の豊かな自然を体感する機会にしようとして、月田禮次郎様を講師に体験活動を行いました。9月は5年生が月田農園へ、10月は1年生が農園へうかがって、森を巡りながら草花や樹木を教えていただきました。11月は2年生のドングリ植えにご協力いただきました。



どうしようか？ 道徳の研究授業 1年生、5年生

「リスさんは、泳げないからだめ。」と言われ、4人の遊び仲間からはずされてしまった。さて、どうしようか？ そんな文章を題材に、仲良くするためにどんな言葉をかけることが大切なのか、1年生なりに考える研究授業をしました。

役割演技を取り入れ、思いを言葉の形にしていきます。普段の生活にも生かせる言葉が、子ども達の口からたくさん出てきて、いいなあと感じました。自分とは違うけど、一緒にやっていく、そんな心とスキルを育ててあげたいと考えます。



レジェンドと呼ばれるスキージャンプの葛西選手、どうしてがんばれたのか、迷いは無かったのか？ そんな問いから授業は始まりました。子ども達のアンケート結果が示されると、「宿題は～」「算数は～」とやりたくない気持ちが円グラフに示され、子ども達が「あっ」という表情に・・・さて、どうしようか？

多少の困難があってもがんばること、それを5年生に考えさせ自分で決めさせたいと、組んだ研究授業でした。弱音を吐いてもいいから先へ進む、そんな心を育ててあげたいと考えます。